

12月末の人口
世帯数 559世帯
男 697人
女 699人
計 1,396人
(馬路 1,024人)
魚梁瀬 372人



平成3年1月15日発行
第一二二八号
馬路村教育委員会
安芸印刷



熊野三山神社の神祭 青年のおなばれ

今年は
赤年

羊は、「おとなしい」「従順」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりもわたしたちが実感できるのは、ウールのセーターや皮製品の肌ざわりと温かさです。

羊は紀元前六千年ごろ、家畜化されたといわれています。馬が家畜化されたのが、紀元前三千~四千年ごろですから、羊と人間の付き合いは、かなり長いことになります。

現在、日本での飼育頭数は、北海道や東北などを中心に、三万七百頭ぐらいで過ぎませんが最近では、全国各地で観光牧場などの整備が進み、子供たちが羊を見る機会が増えました。

羊毛は、天然繊維の人気上昇で、日本での需要が増えています。外国産が中心で、オーストラリアやニュージーランドなどから輸入しています。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいます。今年の目標を決め、『迷える羊』にならないよう、スタートを切りたいものです。

今月のスポット

《 11 月 》

- 10～11日 馬路村文化祭（魚梁瀬）
14 日 村内教育交流会（魚梁瀬）
20 日 村内中学校弁論大会（魚梁瀬）
24 日 村内芸能発表会（魚梁瀬）
30 日 馬路地区はし拳大会

《 12 月 》

- 1～2日 馬路地区神祭、すもう大会
21 日 定例村議会
29 日 親子たこづくり教室

《 1 月 》

- 1 日 魚梁瀬地区体育始め
2 日 馬路地区体育始め
2 日 成人式

フォト・フォーカス



▲ 11月24日 村内芸能発表会



▲ 11月30日 馬路地区はし拳大会



▲ 12月2日 馬路地区神祭



▲ 1月2日 馬路地区体育始め



▲ 1月2日 成人式

村内あちらこちら

年頭のごあいさつ

馬路村長 西眞司

いえる一年でした。しかし、村
民生活は、比較的安定的であつ
たと思います。

今、魚梁瀬では、最終年度を
迎えた「森と湖の整備事業」の
ため総力をあげています。

主な事業は、魚梁瀬森林保養

センター(300ha)、同駐車場(600
m²)、ワサビ加工処理場(72m²)、

村がはじめて国有林活用をする
一ノ谷山の修景施設、長年の夢

を乗せた魚梁瀬森林鉄道。いず

れも本年内に完成する予定です。

魚梁瀬地域のイメージも、一
段と変ることでしょう。村、地
域共に汗をかき、知恵を出しあ
わなければ、じつとしていては
何も生まれてこないと思います。
活性化は民で力で。

不況林業の活性化再生を求め
て、本年度、活性化林業構造改
善事業に着手、主として林道の
開設を行う予定としています。

昨年、十月に国勢調査が行わ
れ、村としては屈辱的ともいえ
る、五年間で県下最高の減少率
となり、村の人口は、一三二三
人となりました。しかし、私達
は、この数値に臆することなく、
若者定住促進事業を推進し、住
民と共に村づくりにはげみたい
と思います。

輝かしい新春を迎えられ、村
民一同のご多幸を心よりお祈り
します。

さて、さつそくで恐縮ですが、
昨年八月、多くのご推薦を得て、
再び重職に就くこととなりまし
た。ところが、思わず早々に病
床に伏すこととなり、懸命に回
復に努めておりますので、いま
しばらくの治療をお許し下さい。

若干昨年度を振り返ってみると、
夏の猛暑、つづいて干ばつ、
つづいて連続の台風と異常とも

原稿をいただいておりま
したので掲載いたしまし
た。



成人おめでとう

21世紀を背負って立つ若人の
前途を心から祝福する成人式が
一月一日就業改善センターにお
いて、対象者二十二名（出席十
六名）で開催されました。

式典は、南教育委員長の式辞、
岡田助役、山崎村議會議長の祝
辞のあと成人を代表して、森林
組合土佐マルボーリ勤務の笹岡
昌二君が「今日から、自己の人
格完成へ努力すると共に国家社
会の繁栄と向上とに協力する真
の民主的日本人となるべく最善
の努力をつくすことを誓います」

と力強く決意を表しました。
成人を迎えた方は、次の
方達です。（）は父母の氏名
と力強く決意を表しました。

前例右から、
荻野 美保（荻野 蠶）
五味 志乃（五味 一明）
佐古 美月（佐古 桂）
西野 千晶（西野賢二）
手島 文香（手島敬介）
田中 瞳美（田中稻満）
後列右から
上総 良一（上総正二）
西山 敦史（西山 始）
八木 昭一（八木 孝）
五百蔵 浩之（五百蔵尚）
笛岡 大輔（笛岡 俊）
平野 文康（平野隆志）
笹岡 昌一（笹岡昌澄）
芝 久義（芝 真男）
清岡 信一（清岡 富）

むらおこしへ

走れ！

(4)

馬路村むらおこし事業

実行委員会 清 岡 博 基

この連載も今回で最終回とな
りました。前三回をヤナセ森林
鉄道の事を知つてもらいたいと
思い、鉄道の歴史を取り上げて
きましたが、今回は現在進めて
いる復元運動の今までの経過と、
これらの取組について説明さ
せていただき、この森林鉄道復
元計画について協力をお願いし
たいと思います。

森林鉄道機関車

(レ)六九号) の修復

昭和六十三年に開催された
「森林鉄道を語る会」がきっかけ
になり、平成元年度にヤナセ

丸山公園にあった森林鉄道機関
車を修復し、鉄道消滅以来、四
半世紀ぶりに、高知市布師田の
地場産業センターで開催された
「地場産業フェア」で、たっ
た六十円であったが、トロッコ
客車二両と、丸太を積んだ貨車
一両を連結して走らせた。

このイベントは、森林鉄道に
思い出のある人達はもちろん、
高知市内の子供達にも大変人気
を呼び、三日間で千人近い人が

乗ってくれた。
このように華々しく再デビュ
ーした機関車は、現在ヤナセ地
区に里帰りして、新しい出番を
待っている。

「森林鉄道を 走らす会」の結成

馬路村のむらおこしは、行政
等の主導型によつて進められて
きている。

しかし本来、地域づくりは住

民主導型であるのが理想である。
そこで、この森林鉄道が村民に
とって思い出深いものでもあり、
この復元運動を住民主導型の
「むらおこし」として実践して

みてはどうかと言う事になり、
若者を中心にして「森林鉄道を
走らす会」を結成し、復元の募
金活動や、テレホンカードの販
売等を現在行つてゐる。

しかし、丸山台地の村道に出
るとなると、鉄道事業法の規制
を受けることになる。そうなる
と、事実上走らることが難しい。

そこで、この法の規制を受け
ない施設にする為にはどうした
らよいか、専門家も入れて検討
を行つた結果、公共用地外の路
線は、村道を廃道にして公園の
一部とし、遊戯施設として走ら
す事で、運輸局のOKをもらつ
た。

この運輸局へ提出する、復元
整備計画書づくりに時間がかか
り、布設工事への取組が大幅に
遅れてしまった。

鉄道復元実施

計画書の作成

「森林鉄道を走らす会」は結
成されたが、まだこの復元事業
を推進していくだけの力はない。

そこで役場、むらおこし実行
委員会が一緒になつて、事業を
進めて行くことになった。

そこで、まず商工会が中小企
業庁の地域資源調査事業（むら
おこし事業）の指定を受け、む
らおこし実行委員会で馬路村の
観光資源活用調査の一つとして

「森林鉄道復元実施計画書」づ
くりを進めていく事になった。

もともとこの復元計画は、ヤ
ナセ丸山公園用地の敷地内を一
周さず考え方であつたが、専門家
も入れて検討の結果、動態保
存だけでなく、観光にも役立つ
ものにする為には、公共用地だ
けでなく、丸山台地まで延長す
る必要があると言うことになつ
た。

しかし、丸山台地の村道に出
るとなると、鉄道事業法の規制
を受けることになる。そうなる
と、事実上走らることが難しい。

そこで、この法の規制を受け
ない施設にする為にはどうした
らよいか、専門家も入れて検討
を行つた結果、公共用地外の路
線は、村道を廃道にして公園の
一部とし、遊戯施設として走ら
す事で、運輸局のOKをもらつ
た。

平成三年度は、これを受けて
募金や、復元基金の取崩で、客
車の復元や、駅舎の建設等を予
定している。

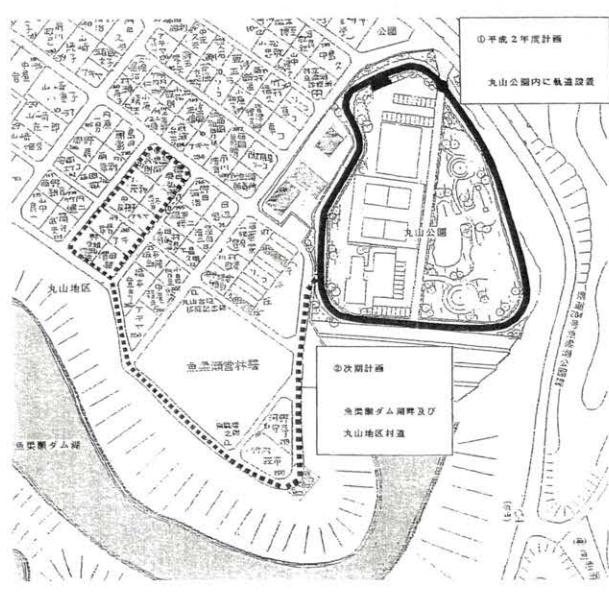
これが完成すれば、次は二次
計画の路線をダム湖畔まで延長
し、路線の一部に昔のヤナセ
トンネルや、鉄橋などの森林鉄
道跡（中芸地区全体）の整備活
用を図つていけば、森林鉄道は
話題性もあり、馬路はもちろん
中芸地区全体のイメージづくり
や、観光にも役立つのではない
かと思われる。

これからの復元 計画への取組

車の復元や、駅舎の建設等を予
定している。

十月末に運輸局のOKがもら
えたので、早速JRの鉄道布設
工事をしている会社に、復元路
線の測量をしてもらい、工事費
の見積をしてもらった。

布設工事は、平成二年度は丸
山公共用地の一周、四百メート
ルを予定しており、工事費は村
が九月に三百七十万円、十二月に残
高の三百七十万円を予算に計上
してくれており、後は工事を發
注するだけになっている。



おじやまします

高知県断酒友の会

馬路特別例会



忘年会シーズンのさ中、毎日が休肝日で、お酒ぬきのお正月を迎えるとしている、高知県断酒友の会。

今回の「おじやまします」は、相名会館で開かれている、馬路特別例会です。

会場には、断酒会の旗が掲げられ、マイクがセットされている。その雰囲気にたじろいだが、特別例会です。

会員の方が暖かく迎えてくれた。馬路会員は、大野開作さんは一名。開作さんの奥さんが、手作りの五目寿司と、山芋汁を持参している。

開作さんの「おんしゃあ、いつ間に作ったなら」の声や、他の人の「おいしそうやねえ。」の声に、奥さんの笑顔がある。

もいた。酒をやめるくらいなら死んだ方がまし、という考えが、断酒友の会との出会いで、死ぬ前に、もう一度生きてみよう、と決心し、酒との闘いが始まる。

落ちるところまで落ちた地獄を見た。もう恐れるものはない家族がいる。共に闘う友がいる。あとははいあがるだけ

飲みたいものを飲める体で

飲まないようにする

断酒へとつなぐには、「毎回の例会への出席」と、皆さんが口をそろえます。方々から参加される訳がわかりました。

特に、入会して間もない頃は、とにかく出席して、仲間の体験談を聞き、シラフで自らが発表して自信をつけていくことだぞうです。

断酒により、体調の回復はもとより、仕事への意欲が増し、積極的に活動できるようになります。季節の変化も楽しんでいるそうです。

まさに、今からが本当の夫婦、家族であり、社会の一員としての始まりではないかと思う。

本人の努力はもちろん、家族や皆さんの支えが必要なのです。大野さんも、「自分から入会し

たが、今は女房が積極的で、引っぱられゆう」と苦笑します。そして、「仕事への欲や、将来への夢がわいてきたし、迷惑をかけてきた人につぐないをしたい。そのためには、精一杯やらんといかん。」とも。

実は、七年くらい前に、道の真ん中で泥酔して寝ている大野さんに出くわしたのだが、車から降りるのがこわくて、う回して帰った。そのことが嘘のように思えるほど、大野さんは変わった。

香川県から来た人は、「この会が私の故郷。」だとも言つた。一度失った信用を取り戻すことは難しい。しかし、この会を人生の出発点として、「人間回復」に努める人達がいることを知つてほしい。

断酒友の会の方々も、助けを求める友を歓迎はしても、中毒手につきあつていただきたいとなる人は望んでいない。

会の最後は、隣りあう者同志が手をつなぐ「連鎖握手」で閉じた。

己の過去に見切りをつけ前を見つめて生きていく。真剣なまなざしに暖かい手のひらに生への執着を感じた。

昭和五十六年に、高知で全へ
きが行われた。
馬路小も第一分科会場として
発表したが、全国の先生方に見
ていただいたのが昨日のことの
ように思い出される。あれから
九年、今年は山口大会だ。
来年度は、魚梁瀬小中におい
て、県へき地教育研究大会が開
かれる。魚梁瀬小では、児童の
表現力（主に作文力）を伸ばし
たいと思い、その研究が始まっ
たばかりだ。そこで、表現力、
思考力を育てる作文指導の先進
校である、第八分科会の福賀小
に視察に行くことになった。

魚梁瀬小学校
の多忙な日々。
児童の通学区域が広く、十キ
ロメートル前後を通学してくる
子供はじめ、四キロメートル
以上の者が半数以上いる。積雪
の多くなる冬期は、通学に苦労
し、バス通学の児童が高学年で
も多くなっている。

第三十九回

全国へき地教育研究大会 山口大会に参加して

魚梁瀬小学校

地域の実態

一 山口県阿武町立福賀小学校
福賀地区は、山口県北部、島
根県よりあり、県の内陸に位
置し、海拔三百八十八メートルを
越える高所にある。

児童の通学区域が広く、十キ
ロメートル前後を通学してくる
子供はじめ、四キロメートル
以上の者が半数以上いる。積雪
の多くなる冬期は、通学に苦労
し、バス通学の児童が高学年で
も多くなっている。

児童数も、戦後五百名位あつ
たが、人口の減少に比例して、
現在は六十五名となる。

観察旅行記

十月十七日、午前四時四十五
分。まだ暗い中、就業改善セン
ターを出発した。

やはり、山口は遠い。山陽新

幹線の中で、三千円の駅弁を
買って昼を済ます。小郡を経て、
山口市民会館についてのは、と
うに午後一時を過ぎていた。

萩市からバスで五十分。カ
ブの多い山道を、五十人乗りの
ぎしづめバスがゆく。それにし
ても、どうしてこう家という家
の屋根瓦がすべて茶色で、てか
てか光っているのだろう。後で、
零下何十度という寒さに耐える
がだと聞かされた。通路のイス
に座り、ゆられながら、阿武町
福賀小へ向かう。

北は北海道から、南は九州ま
で、へき地校でがんばっている
人間は、みなちがうからすば
らしい。

。人間にとつて、郷里ほど心の
かたになるものはない。

。夜の電車の中で、即席ラーメ
ンをすすっている子ども。（勝
つことしか考えていない競争
社会）

。共稼ぎの多い世の中、物を買
い与えることでうめ合わせて
いる。

。ビリがいるから一番がいる。
どんな子どもでも長所がある。

。ほしい物がそろったとき、一
番大切な人間の心を置いて來
ちゃつた。など……：

一つ一つの言葉に、教師とし
ての生き方、人間としての生き
方はこれでよいのか考えさせら
れた。

宿は、千春楽。松下村塾の吉
田松陰で有名な秋市。四階の部
屋からは、松林の向こうに静か
な日本海が見える。やはり、高
知とは違う。

十月十八日

萩市からバスで五十分。カ

ブの多い山道を、五十人乗りの
ぎしづめバスがゆく。それにし
ても、どうしてこう家という家
の屋根瓦がすべて茶色で、てか
てか光っているのだろう。後で、
零下何十度という寒さに耐える
がだと聞かされた。通路のイス
に座り、ゆられながら、阿武町
福賀小へ向かう。

北は北海道から、南は九州ま
で、へき地校でがんばっている
人間は、みなちがうからすば
らしい。

仲間たちが、よくぞこんなにた
くさん集まつたのだ。来年、
はるばる魚梁瀬まで見に来てく
れる先生方を、大事にせないか
んとつくづく思った。

バスから下りると、父兄会の
人々が温かく出迎えてくれた。
かつて、五百人の子供がいたと
いうだけあって、山の中でも校
舎は広くなりっぱだった。薄着で
来た私は、体育館の中で、ガツ
ガツと寒さにふるえることにな
る。やはり、雪の山陰。もう寒
かった。用意周到で、毛糸のカ
ーディガンを着て、となりに座
っている清岡先生がうらやまし
い。

公開授業は、いずれも作文の
授業。コオロギの鳴き声や、水
の音を録音しておき、それを聴
かせて、感じたままの言葉で書
かせる。子どもたちは、楽しく
詩的な表現を学んでいった。
また、出来上った焼き物を見
ながら、福賀焼き作りを通して、
感じたことや、思ったことを作
文に書くという五年生の学習は、
新鮮味があつておもしろかった。
午後のアトラクションでは、
神樂舞、村をよみがえらせた人
々の郷土劇など見せてもらつた。
生質益地のじる田の耕地整理
に命をかけた先人の苦勞話を見
ながら、ダムに沈んだ魚梁瀬の
ことを思つた。

弁当はくりご飯。何しろ、何
百もの弁当をまかなうものだか
ら、コチコチ。しかも寒い。P
TAのお母さんたちが、サービ
スで作ってくれた、温かい豚汁
がうれしかつた。一杯もお代わ
りをした。

お土産に、すいかの漬物（こ
れは、奈良漬に似て珍味）、キ
ウイジュースをいただいて、ま
たバスに乗つた。来年の県へき
はお土産に「ごっくん馬路村」
がいいなどと思いながら……。

十月十九日

何分遠いので、分散会はそこ
にして、秋芳洞、秋芳台を
見学して、帰路についた。

参加しての感想

校舎内外の環境整備で、花だ
んに野草を植え、それそれに、
竹で作った名札をつけてあり、
風情があった。また、野鳥や植
物の掛図を置いたり、地元の歴
史的な物を展示するなど、地域
をよく知ろうという指導がなさ
れていた。

一人ひとりの目が輝いており、
先生の言った一言一言に、素直
に意見が述べられていた。日々
の学習が根をはつたものになつ
ている。

少数精銳教育。これがへき地
教育である。児童・生徒発表等
すばらしかつたが、全体と宿泊、
輸送など、業者まかせの運営は
よくなかったので、来年は、そ
の点を考えるべきだ。

第18回 馬路村文化祭

○総合優勝 岩城安夫(馬路更紗)

○銘品の部

一位 岩城安夫(白馬議長賞)

二位 式部佐由里(雨情)

三位 吉岡琢磨(鯨洋)

○赤花の部

一位 小原千里 教育長賞

二位 小松良重

三位 式部佐由里

○青花の部

一位 岩城安夫 村長賞

二位 岩城安夫

三位 式部佐由里

○更紗の部

一位 小原千里 村文推協会長賞

二位 岩城安夫

三位 岩城安夫

早くも18年目を迎えた、恒例の馬路村文化祭を魚梁瀬体育館を主会場に、11月11日に開催しました。

今年も柚子の収穫期と重なりながらも、たくさん作品を搬入していただき、まことに、ありがとうございました。

今回は、安芸農業改良普及所田野支所の「働く婦人のキラキラ写真展」の協力を得て、公民館教室生及び保育所、学校作品などを一堂に展示し、多数の村内外の入場者が得られ多大な成果をおさめることができました。紙上もって厚くお礼申し上げます。

馬路村文化推進協議会

本年度の寒蘭展は、文化祭と併せて魚梁瀬で村内愛好者から、70鉢の出品により行われました。入賞された方は次のとおりです。



らいました。

悲しい、苦しい時には、花でも眺めて心を慰める。私はそのことの原因を解消しない限りつきまとう苦痛にさいなまされる

から、花など見ない。そんなに

考えて、五十三才までの多くを

生きてきました。

しかし、浮気心か、ガッツが

なくなつたのか、最近では花に

心がよく向くようになりました。

野菊などの美しさは格別で、今

年は四種類を植えてみましたが、

とても愛らしい花をつけてくれ

ました。野菊について、よく調べてみますと、奈半利川を境に

西と東の花の種類が異なるよう

です。馬路にもよい野菊があり

ますので、今年は、少し手を入れてみたいと思つています。

過日、製材の前を通つていま

すと、「先生、先生、待つて、

待つて。」と呼びかけられました。

「なんぜよ。」「カサブランカの

球根を買つたけど、どんなにし

て植えるか教えてや。」とのこと

でした。何かが動き始めたよう

で、とてもうれしく思いました。

注文をいたしました球根は、

三百円前後で二月末にきます。

初夏の美しい花が待ち遠しい。

中学校でも、竹内教頭先生か

ら、生徒に一人一鉢育てさせた

いからとの声がかかり、全員が

カサブランカの花鉢を眺める姿

馬路・魚梁瀬

俳句会

千鶴子

コスモスの押しよせて来し
吾が家路

ひんぱんに車素通り秋の暮
うた子

秋深し高野の僧の話聞く
喜美栄

わが家の百年過ぎし障子貼る
百合子

一時は塚に移りて稻雀
まだほかす

霜解けの滴り落つる文化財
善心

山茶花は淡いピンクを
秋冷の小犬と居りてばらを焼く

はでしなく
影長く鶴歩み居り秋桜

口缺けし土瓶をおきて秋深し
麗山子

名月や平家の里を広くする
夕紅葉耳順の色として見たり

霜解けの滴り落つる文化財
事務机横に置かれたさらし柿

山茶花ながめつ、行く
一 美

秋冷の小犬と居りてばらを焼く
麗山子

口缺けし土瓶をおきて秋深し
善心

名月や平家の里を広くする
小学生時代話して夜長なり

夕紅葉耳順の色として見たり

馬路村文化祭

馬路青年団

馬路青年団主催

奉納相撲大会及び神祭を終えて



もう11月だというのにとても温かい日が続いていましたが、「さあ相撲の寄附金を集めるゾ」と腰を上げると、急に冬がやつてきました。毎晩仕事を終えては、部落ごとに集まつて回りました。各御家庭を回って、御無理をお願いしましたが、気持ちよく御協力いただきました。

ありがとうございました。こうして、青年団にとっての神祭は、寄附金集めで幕を開けました。

神祭までの一週間は、毎晩遅くまでそれぞれ練習に準備に追われる事になりました。相撲大会の賞金配当、組み合わせ、ボスター張り、寄附金をいたしました方々の名前を当日会場に張り上げる為、名前を書く等々、相撲の打ち合わせ他に、獅子舞の練習など。また一方では、男が主役の神祭に、「女も参加

したい」の声に、数年未見る事の無かつた花台を復活させる事になりました。ですが有る物といえばリヤカーがあるだけ、それを乾恭介さん他の方々が、花台に仕上げて下さいました。ありがとうございました。

そして中でも一番時間をかけたのは、この花台に飾った三枚の絵でした。豈一枚程の大きなベニア板一面に書かなければいけないとあって、一筋縄にはいかけない所を、色んな書物を参考に入念に描いては書き上げ、隅々の配色まで気を配っては塗り上げました。よくここまでと言わずにいられない程。また他の団員も色や材料の調達、手を加えられる所は手伝いました。まる一週間夜遅くまで、またぎりぎりまでかけて仕上げた物です。

立派な絵が出来上りました。最後は女子団員が飾り付けてやつと完成しました。

馬路村の神祭は十二月の第一の土、日曜日、今年は一日、二日に行われました。

若者は十人、苦しい人数に二人駆け付けて、総勢十二人白い衣裳を身に付けて、颶炎と担ぎ、後へ苦心の花台を女子団員が、引張つて続きました。そして神

祭に欠かせない物がもう一つ。

獅子舞です。雌獅子には今

年二年目コンビで、前へ乾公栄

君が後へ中屋博義さんが入り、

雄獅子には初挑戦の二人、前へ

大野一幸君が後ろへ篠岡範明さ

んが入りました。お爺さんに変

装したのは、乾準治さん。さす

がの役者ぶりに会場は大爆笑。

そして清岡明徳さんの太鼓に、

四人が呼吸を合わせて舞います。

一匹で舞うのも難しい所を、

二匹で舞うのですから、なかなかの物です。また今年はみこし

休む間も無く、団員は明日の相

撲大会の、土俵整備に準備に

頑張ります。そして迎えた二日

何もかも飛んで行かんばかりに

と風が吹きます。回し姿には堪

える寒さとなりました。当初参

加人数が心配されましたが、団

体戦に五チ一ム、個人戦に十五

人の参加を得まして無事行われ

る事となりました。

まずは恒例の初切。解説、実

況中継を中屋博義さん、五藤寿

史さん。行事には、清岡明徳さ

んが。そして力士には、乾準治

さん、吉松正博君という配役で

「いきなり場外乱闘！」は無

いでも、飛び出すプロレス技

に放送席にはいつの間にやらジ

アントババが解説を始める等、

コントと迫力ある取り組みで、

会場を盛り上げてくれました。

当日、男子団員は回し姿で土

俵の上となる為、司会進行には

女子団員が頑張りました。尾崎

恭子さんの司会進行で、中岡則

子さんが勝者を書き上げていく

等。

一方、相撲の方は白熱した取

り組みが行われました。結果は

次の通りです。団体優勝は青年

Bチーム、吉松正博君、伊場公

彦君、清岡信一君の三人が、準

優勝は森林組合、林寛幸君、乾

准治君、清岡真治君の三人とな

りました。

個人優勝は吉松正博君、二位

は木下英年さん、三位は小松良

充さんでした。おめでとうござ

いました。

相撲大会を終えまして、神祭

は終わりました。精一杯頑張つ

たつもりですが、いき届かない

点もあった事だと思います。です

が、多くの方々に、御協力、お力

添え頂き、また今年も無事終了

する事が出来ました。末尾にな

りましたが、この場をかりま

て、お礼申し上げたいと思いま

す。本当にありがとうございます。

いますが、私達も一致協力して

頑張りたいと思いますのでどう

か、よろしくお願ひいたします。

馬路村の神祭は十二月の第一の土、日曜日、今年は一日、二日に行われました。

若者は十人、苦しい人数に二人駆け付けて、総勢十二人白い衣裳を身に付けて颶炎と担ぎ、後へ苦心の花台を女子団員が、引張つて続きました。そして神

祭に欠かせない物がもう一つ。

獅子舞です。雌獅子には今

年二年目コンビで、前へ乾公栄

君が後へ中屋博義さんが入り、

雄獅子には初挑戦の二人、前へ

大野一幸君が後ろへ篠岡範明さ

んが入りました。お爺さんに変

装したのは、乾準治さん。さす

がの役者ぶりに会場は大爆笑。

そして清岡明徳さんの太鼓に、

四人が呼吸を合わせて舞います。

一匹で舞うのも難しい所を、

二匹で舞うのですから、なかなかの物です。また今年はみこし

休む間も無く、団員は明日の相

撲大会の、土俵整備に準備に

頑張ります。そして迎えた二日

何もかも飛んで行かんばかりに

と風が吹きます。回し姿には堪

える寒さとなりました。当初参

加人数が心配されましたが、団

体戦に五チ一ム、個人戦に十五

人の参加を得まして無事行われ

る事となりました。

まずは恒例の初切。解説、実

況中継を中屋博義さん、五藤寿

史さん。行事には、清岡明徳さ

んが。そして力士には、乾準治

さん、吉松正博君という配役で

「いきなり場外乱闘！」は無

いでも、飛び出すプロレス技

に放送席にはいつの間にやらジ

アントババが解説を始める等、

コントと迫力ある取り組みで、

会場を盛り上げてくれました。

当日、男子団員は回し姿で土

俵の上となる為、司会進行には

女子団員が頑張りました。尾崎

恭子さんの司会進行で、中岡則

子さんが勝者を書き上げていく

等。

一方、相撲の方は白熱した取

り組みが行われました。結果は

次の通りです。団体優勝は青年

Bチーム、吉松正博君、伊場公

彦君、清岡信一君の三人が、準

優勝は森林組合、林寛幸君、乾

准治君、清岡真治君の三人とな

りました。

個人優勝は吉松正博君、二位

は木下英年さん、三位は小松良

充さんでした。おめでとうござ

いました。

相撲大会を終えまして、神祭

は終わりました。精一杯頑張つ

たつもりですが、いき届かない

点もあった事だと思います。です

が、多くの方々に、御協力、お力

添え頂き、また今年も無事終了

する事が出来ました。末尾にな

りましたが、この場をかりま

て、お礼申し上げたいと思いま

す。本当にありがとうございます。

ですが、私達も一致協力して

頑張りたいと思いますのでどう

か、よろしくお願ひいたします。

"未来のために"

—国民年金の知識—

学生も20歳になつたら全員加入

▼平成3年4月から▲

国民年金は、日本国内に住む20歳以上60歳未満のすべての人のが、必ず加入することになってます。

しかし、学生については例外として、加入が自由に選択できることになっていました。

そのため、加入していない学生は、"万一障害者となつた場合に障害基礎年金が受けられない"とか、"卒業後年金制度に加入しても、満額の老齢基礎年金が受けられない"といった問題点が指摘されていました。

そこで、平成3年4月から、これを改善するため、20歳以上上のすべての学生が国民年金へ加入するように、法律が改正されました。

①在学中に障害者となつた場合、これにより、

国民年金や厚生年金などの年金を受けている人が亡くなられました。

障害基礎年金が受けられる。

②20歳から60歳まで40年間加入することになるので、満額の老齢基礎年金が受けられる。など、学生も年金の受給について、不安のないものとなりました。加入後は、当然保険料を納めなくてはなりませんが、学生の場合は、同居・別居にかかわらず、親元から学費・生活費の全部又は一部を負担してもらつてするのが通例であり、免除については、現行の免除基準とは異なる独自の免除基準を設けることになっています。

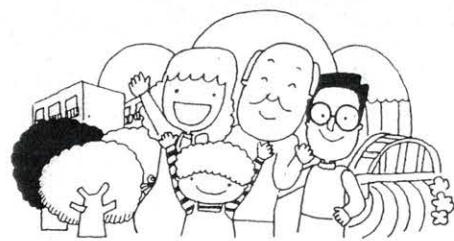
◎年金を受けている人が亡くなられたときは、速やかに届出をしてください。

「死亡届」及び「未支給年金請求書」の届出をしなければなりません。（未支給年金を請求できない方は「死亡届」のみ）この届出が遅れたり、忘れたりすると、亡くなつた以降も年金が支払われるため、払いすぎとなつてしまい、後で遺族の方に返納していただくことになります。死亡に伴つていろいろと手続きがあり、つい忘れがちになりますので、気をつけてください。

なお、届出は、国民年金を受

けている人が亡くなつた場合は、ひずみといつて片づけるには、あまりにも問題は複雑です。子供の世界というものは、結局は大人の世界を反映したものだといわれます。

何年か前、横浜で、中学生が浮浪者を襲つて殺した事件がありました。これは、ある意味で大人の世界のいじめの投影現象といえなくありません。汚ない、不潔、排除してほしいといつた浮浪者に対する大人の気持ちと、それを感じとった中学生——こうした背景があつて事件が起つたと見ることもできます。大人自身が、社会の一員としてもう一度よく考えてみることこそ、いじめの問題をより深く掘り下げるにつながるのではあります。



いじめと無関係

教育相談所だより

いじめの抑制力に

なれるかどうか

いじめが表面化したときの親と子の会話――。

「そのとき、おまえは何をしていたの」
「ぼくカンケイないよ」

「よかつたわね、第三者でいじめっ子になるのも、いじめられるのも困るが、観衆や『傍観者』でいてくれるなら安心——これが大方の母親のホンネのようです。自分に火の粉がふりかかる限り、ヤレヤレ安心という気持ちになることが多いようです。

わが子が中学生になると

「どうして止めなかつたの！ 黙つて見ているなんて、ひきようでしよう」といった抑止力としての存在を子供に期待する親は、たいへん少数派になつてします。しかし、そのことを一方的に「否」といって責める訳にもいかないのが、現代のいじめの特徴でもあるのです。抑止力としての存在が、いつ、いじめられっ子の立場にたたされることはあります。

大人は社会の「投影現象」は、自分の胸の奥にひそむ「いじめの気持ち」を投影して、いじめっ子を見ていることがあります。また、自分では直接手をくださず仲間をおつていてじめていることもあります。このような態度が、いじめをよりエスカレートさせてきたといえるでしょう。

いじめの問題を、単に教育の「観衆」や「傍観者」の中に同調してくれなければ効果をあげることができないからです。いじめは、大人社会の「投影現象」は、自分の胸の奥にひそむ「いじめの気持ち」を投影して、いじめっ子を見ていることがあります。また、自分では直接手をくださず仲間をおつていてじめていることもあります。このような態度が、いじめをよりエスカレートさせてきたといえるでしょう。

周囲の「観衆」と「傍観者」が

同調してくれなければ効果をあげることができないからです。

いじめは、いじめの問題をより深く掘り下げるにつながるのではあります。

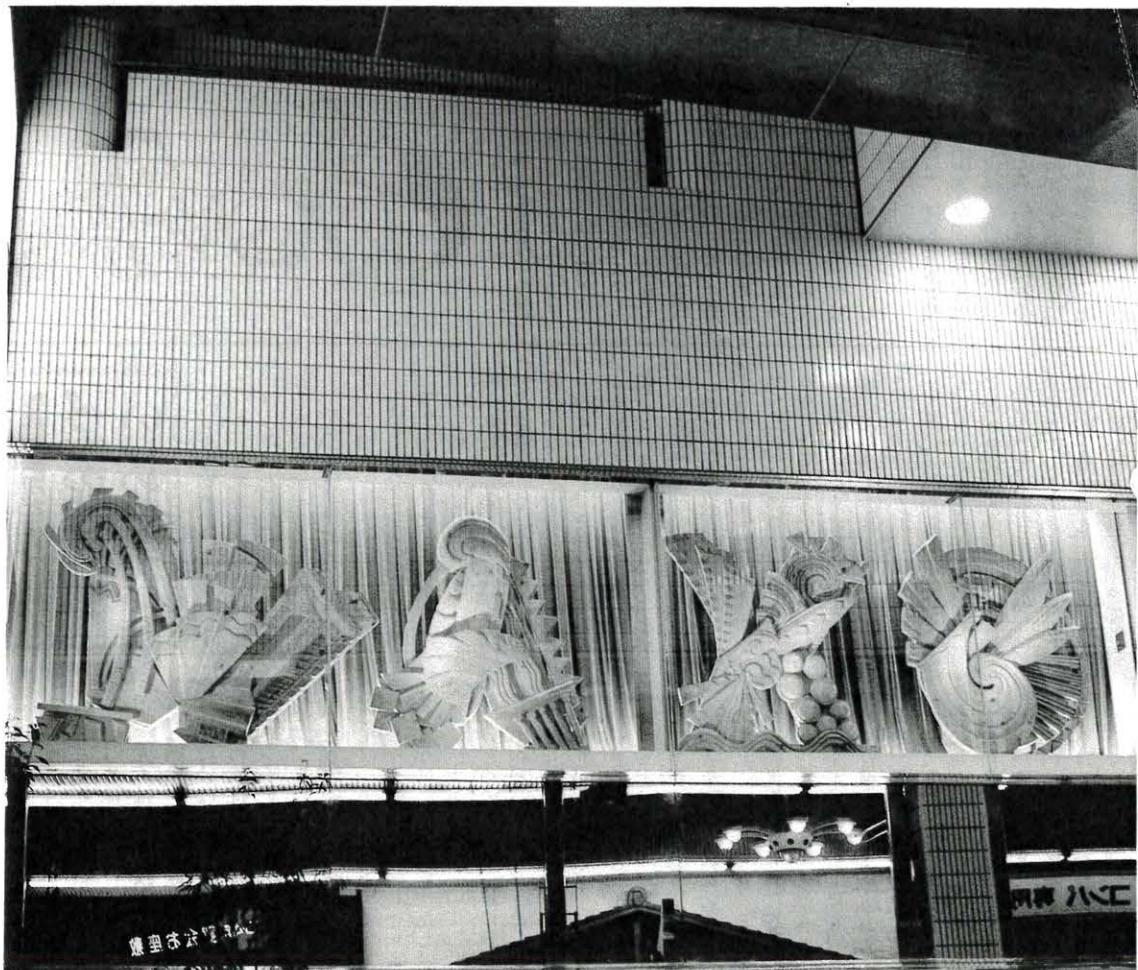
いじめをやめさせようと立ち上がつても、

森林組合だより—— 注文でこんな製品も

今度馬路特産工芸センターでは、造林杉を素材とした、環境演出の協同工事施行を行いましたが、各方面の専門誌に掲載（NIKKEI DESIGN 8月号、NIKKEI ART 8月号、芸術新潮 9月号、美術手帳10月号、月刊美術 9月号）されましたので、一部紹介致します。

この商品制作については、当工芸センターの開発商品で有ります。馬路のあかり、時計、器のデザイナー、伊福部弘氏（株式会社イオタ）を現地のトップとして指導を受け、東京芸大出身の、彫刻家、造形家等7名のスタッフと共に、約半年間の制作期間を経て完成した。

場所は、大阪市中央区難波千日前12-35、スウイング、ヨシモトビル、2F、和光証券株式会社難波支店。（南海通り、旧難波花月跡）



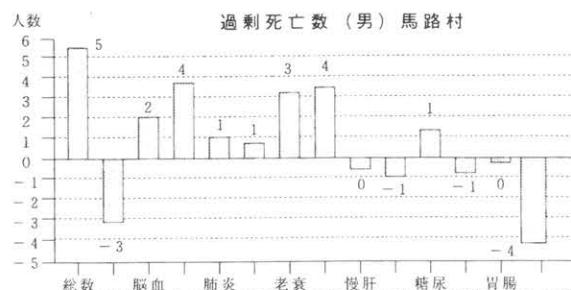
——健康のお知らせ——

馬路村は健康村か？（安芸保健所資料よりみてみよう!!）

(表の見方)

- ・人口規模の少ない町村では単年度で大きく変動し過ぎるので、昭和54年～63年までの過去10年間の死因統計でみている。
- ・期待（予測）死亡数とは：全国平均なみに死亡したと仮定した場合の死亡数（その市町村で）。
- ・標準化死亡比（S. M. R.）：全国平均を100とした場合の値。
- ・過剰死亡数：正の値であれば全国平均より多く死亡した数を、負の値なら逆に少なくすんだ人数を示す。

== 男女別全死亡をみてみると ==



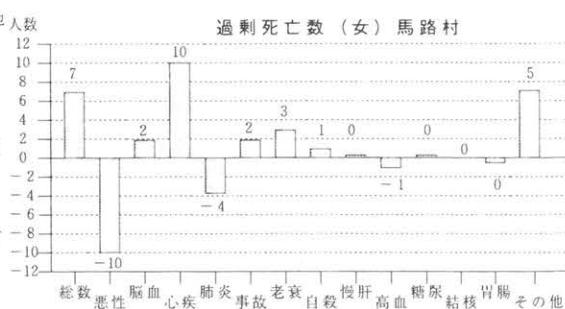
<男 性> (0で予測通り)

- ・過去10年に総死亡で5人過剰に死亡している。
- ・心疾患、自殺が4人、老衰で3人、脳血管障害2人、肺炎、事故、糖尿で各1人過剰に死亡している。
- ・悪性(がん)で3人、高血圧、結核で各1人、死亡が少なくてすんだ。



(100で全国平均と同じ)

- ・過去10年間で総死亡は全国並位(1.07倍)であった。
- ・老衰が2.7倍、自殺2.5倍、糖尿2.3倍とほとんど100をこして全国平均よりもうわまわっている。
- ・悪性(がん)と慢性肝炎での死亡が全国平均より低く少んでいる。



<女 性>

- ・過去10年に総死亡で7人過剰に死亡している。
- ・心疾患で10人、老衰3人、脳血管障害2人、事故2人過剰に死亡している。
- ・がん10人、肝炎4人、高血圧1人、死亡が少なくすんでいる。

- ・過去10年間で総死亡は全国平均の1.1倍であった。
- ・事故2倍、自殺1.7倍、心疾患1.6倍と全国平均に比べて高い死亡率である。
- ・がん、肺炎、高血圧は100をずっと下まわり全国平均より成績がよい。

馬路村では疾患、事故等で亡くなる人が全国平均に比べて多く、悪性(がん)や高血圧で亡くなる人が少ない。老衰で亡くなる人が多い事は、長生きをして天寿をまとうする人が全国平均に比べて多い。

馬路村の歴史と伝説



〈雪〉

馬路の神々⑧

馬路公民館長 山中 嶩

「私は、この下の滝つぼに住む大蛇の身代わりですが、もう悪いことはしませんのでしつぼを返して下さい」と願願しました。兵衛守は、あわれと思って、しつぼを返してやりました。お姫さまは何度もお札を言って帰つて行きました。

滝つぼの主、大蛇は、返してもらつたしつぼをつぎにかかりましたが、余りにも日数が経過しておりましたのでつけませんでした。

としては次のようなものがあります。

ある日、兵衛守の家来のカンスという武士が、河平の下流にあります。昔は、河平には八戸くらいの人家があり、この神社の氏子でありました。そして、夏、秋、正月にお祭りがおこなわれていました。

境内には、野神さまがお祭りされておりました。祭神は、河平兵衛守です。兵衛守は平家の落人といわれています。大蛇さまでお祭りが開催されました。

竈戸神社（落合）

この神社は古来から鎮荒神さまであります。祭神は奥津彦神、奥津姫神、火産靈神の三神です。

現在、馬路熊野神社でおこなわれている「鎮祭」（鎮めさま）は、昔はこの神社で執行されていました。

明治四十二年、馬路熊野神社に合祭されました。



河平兵衛神社

金明御崎神社（平野）

この神社は平野の川辺にお祭りされています。ご神体は石です。祭神はわかりません。

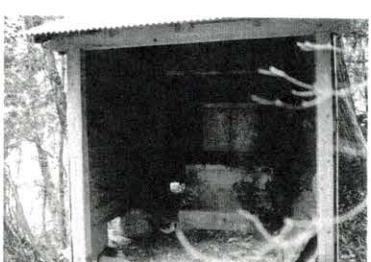
大蛇は、一目散に滝つぼへ逃げました。

数日のうち、一人の美しいお姫さまが兵衛守の宅を訪れ、お話を聞かれた地区です。

さて、兵衛守にまつわる伝説

氏子は近辺に田畠を持つ人々です。祭日は旧九月十五日となっています。

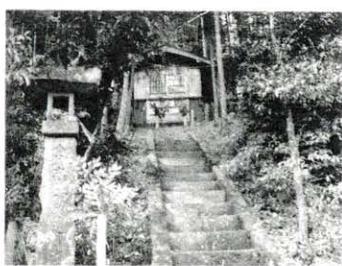
この神社の祭神は、大野家神主清岡幾大夫盛重夫妻です。盛重は、今から約三百年前、熊野神社、牛王大明神、土川の星神社の神主でありました。老後、職を子息の長太夫にゆずり次男をともなつて夫婦共に下田に隠居し、この地で永眠しました。



金明御崎神社

	氏名	性別	年齢	死亡年月日
丸山直次郎	手島意磨榮	女	78	86
男			H 2・12・22	H 2・11・16
佳子	春美	世帯主		
夫の父	養母	続柄		
影	魚梁瀬	部落		

ごめい福をお祈りします



御子神社

御子神社（下田）